



2025年3月期 第1四半期

決算説明資料

東証スタンダード・福証 証券コード8596

2024年8月

株式会社九州リースサービス

- 1** 2025年3月期 第1四半期決算の概要
- 2** セグメント別の状況
- 3** 2025年3月期 業績予想

1

2025年3月期 第1四半期決算の概要

2025年3月期 第1四半期決算のポイント

- 売上高は140億円（前年同期比101.8%増）、経常利益は19億円（前年同期比57.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億円（前年同期比38.3%増）で推移
1Q期間としては、売上高及び各利益段階いずれも、過去最高を更新
- 営業資産残高は、1,837億円（前期末比0.9%増）と着実に増加

- リース・割賦セグメントは、低炭素設備などの環境関連分野向けを中心に新規取扱高が堅調に推移したことに加え、リース物件売却収入により、売上高は前年同期比**21.1%増**、営業利益は**12.8%増**、営業資産残高は前期末比**3.2%増**
- ファイナンスセグメントは、営業資産の積み上げに伴い利息収入等が増収となり、売上高は前年同期比**7.4%増**、営業利益は前年同期比**10.6%増**、営業資産残高は前期末比**5.7%増**
- 不動産セグメントは、連結子会社における不動産販売収入に加え、九州エリアにおける不動産仲介収入により、売上高は前年同期比**497.8%増**、営業利益は**111.8%増**、営業資産残高は前期末比**8.7%減**
- フィービジネスセグメントは、自動車関連の手数料収入及び保険代理店収入が堅調に推移したことにより、売上高は前年同期比**9.4%増**、営業利益は**19.5%増**
- 環境ソリューションセグメントは、売上高は前年同期比**6.8%減**も、売電収入が堅調に推移し営業利益は**7.7%増**、営業資産残高は前期末比**6.1%増**

2025年3月期 第1四半期決算概要

連結子会社における不動産販売収入が計上となったこと、リース物件売却収入及び不動産仲介収入が増加したことにより、大幅増収、増益で推移

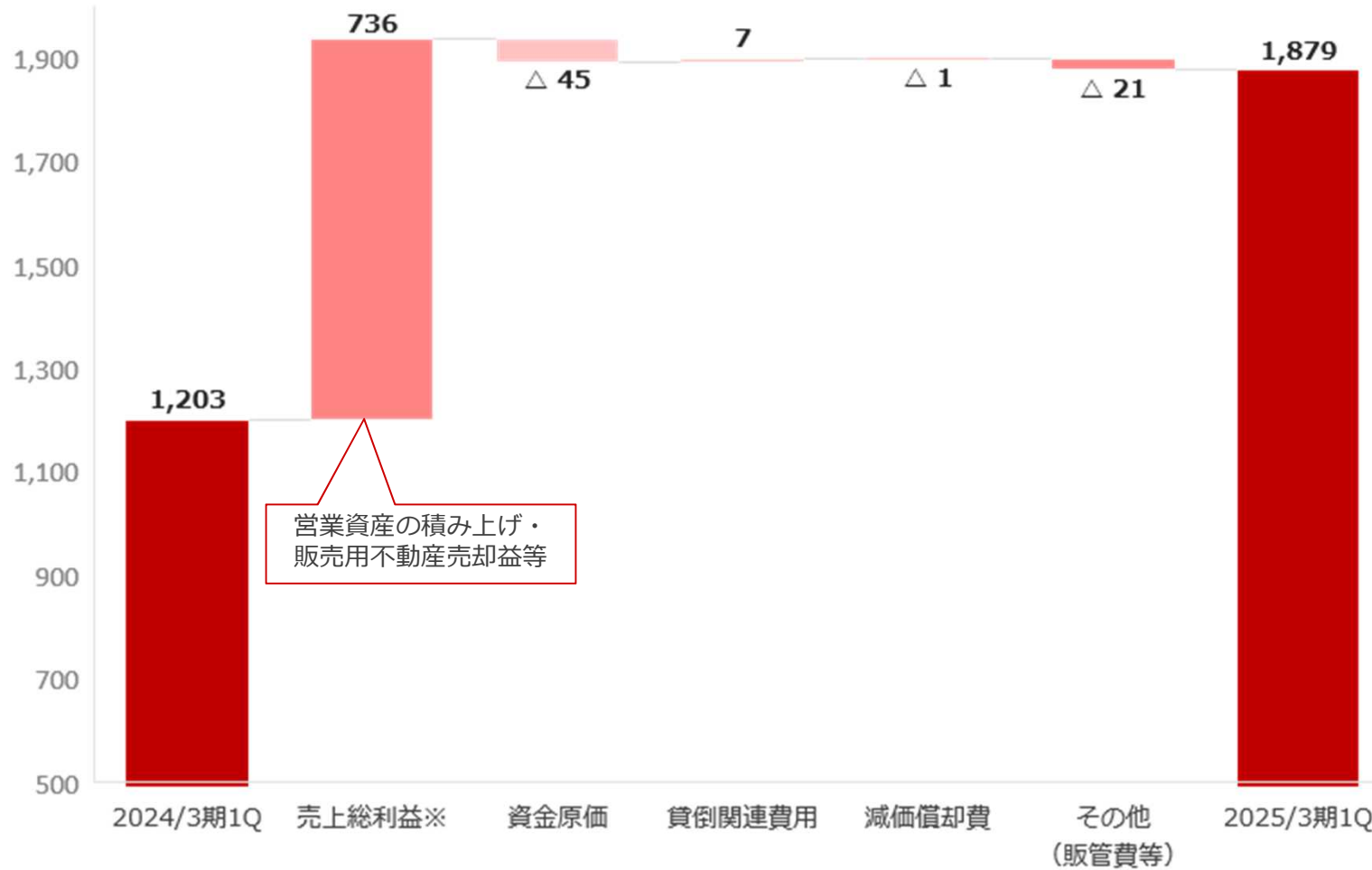
単位：百万円、%

	2024/3期1Q		2025/3期1Q		
	金額	構成比	実績	構成比	増減率
売上高	6,963	100.0	14,053	100.0	+101.8
営業利益	1,203	17.3	1,879	13.4	+56.2
経常利益	1,210	17.4	1,902	13.5	+57.1
当期純利益※	819	11.8	1,134	8.1	+38.3

※親会社株主に帰属する四半期純利益、以下同じ

営業利益の増減要因

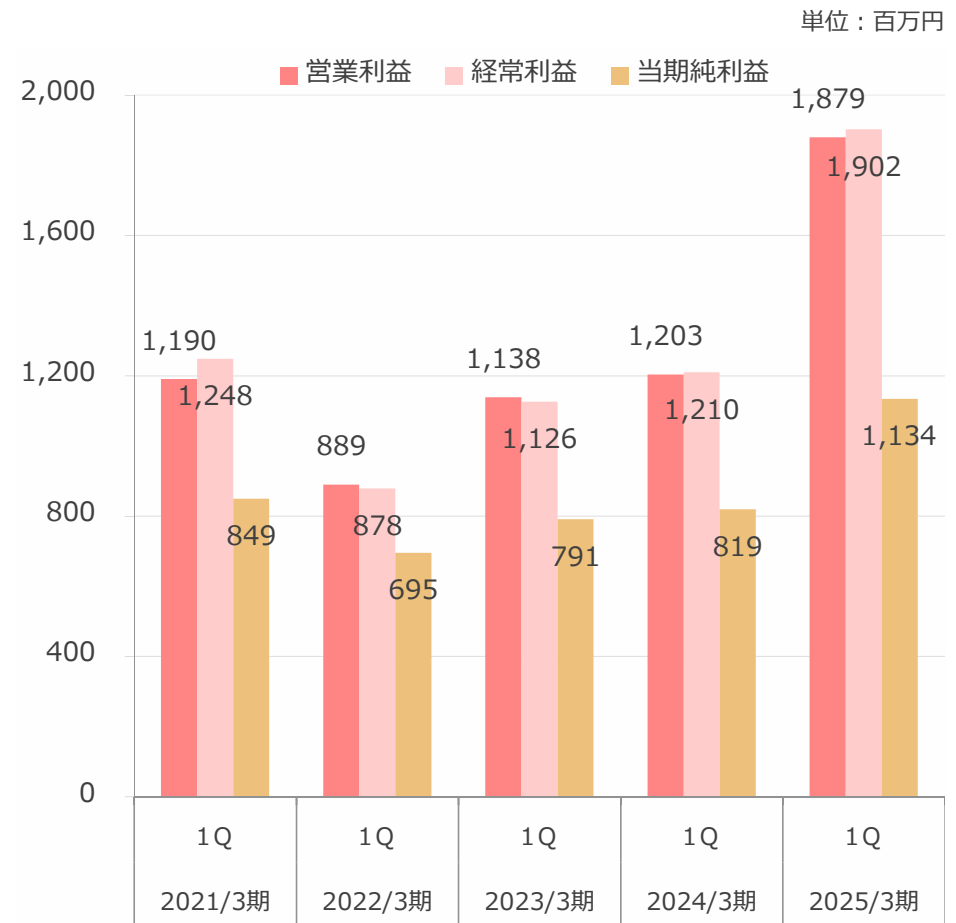
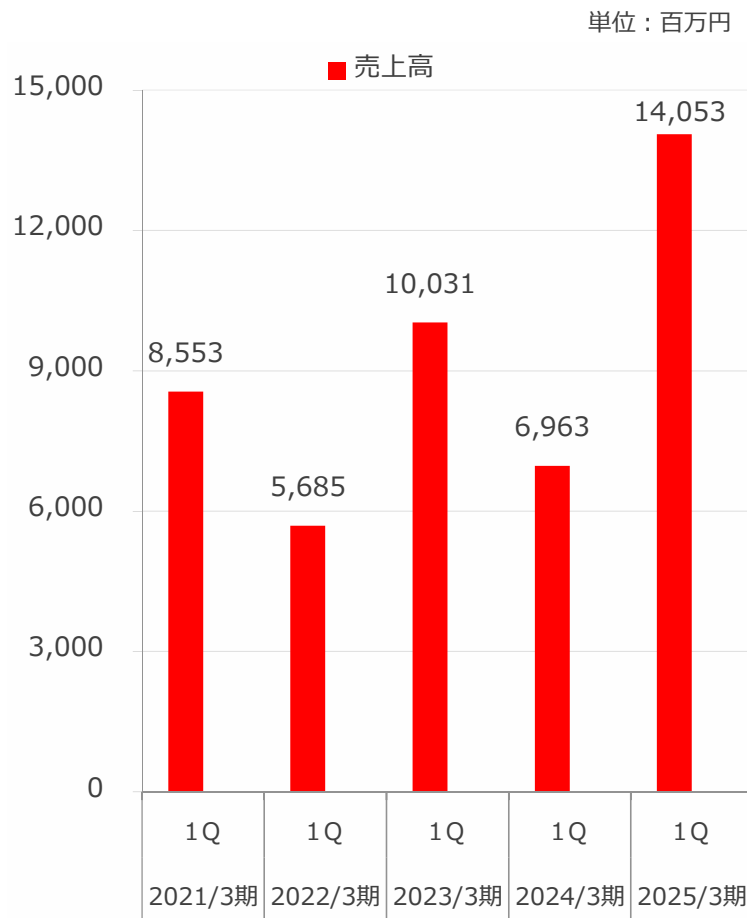
単位：百万円



※資金原価、減価償却費を除く

四半期別業績推移

2025/3期1Qは、売上高・営業利益・経常利益・当期純利益のいずれも1Q期間としては過去最高を更新



貸借対照表

リース債権及びリース投資資産、割賦債権、営業貸付金の増加により、資産合計は17億円の増加、なお、販売用不動産は減少

自己資本比率は0.2ポイント向上、20%前後で推移

単位：百万円

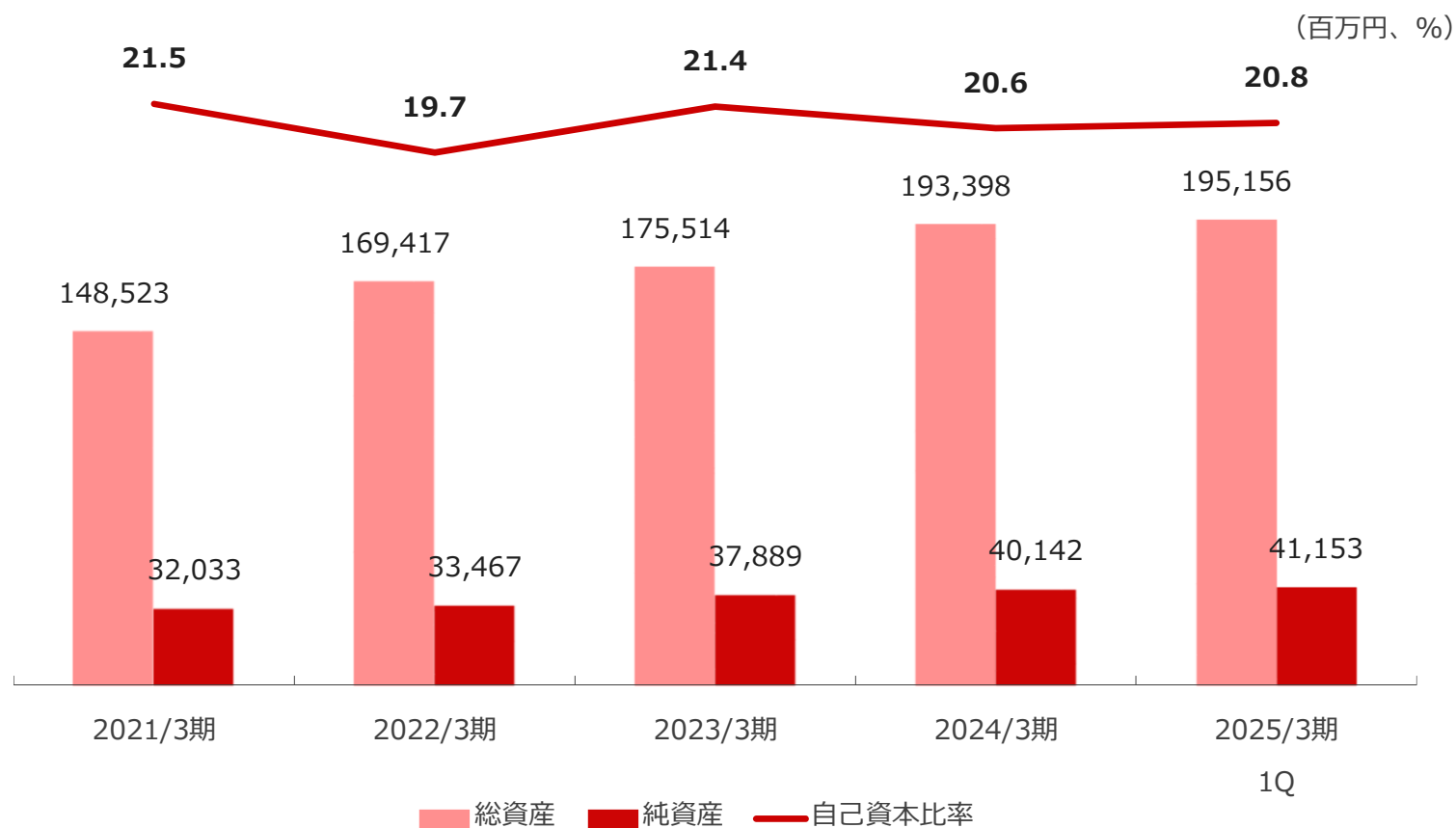
	24/3期末	25/3期 1Q末	増減額
流動資産	142,998	144,423	+1,425
現金及び預金	5,087	4,632	△455
割賦債権	25,756	26,507	+750
リース債権及び リース投資資産	60,265	62,508	+2,243
営業貸付金	41,262	43,650	+2,387
販売用不動産	10,207	6,360	△3,846
固定資産	50,399	50,733	+334
有形固定資産	39,617	39,399	△218
賃貸不動産(純額)	30,356	30,276	△80
無形固定資産	548	529	△19
投資その他の資産	10,234	10,804	+570
投資有価証券	8,639	9,283	+644
資産合計	193,398	195,156	+1,757

	24/3期末	25/3期 1Q末	増減額
流動負債	55,179	61,553	+6,374
短期借入金	44,998	52,133	+7,135
固定負債	98,076	92,448	△5,628
社債	9,300	9,150	△150
長期借入金	78,064	72,753	△5,311
負債合計	153,256	154,002	+746
純資産	40,142	41,153	+1,011
負債純資産合計	193,398	195,156	+1,757
自己資本比率 (%)	20.6	20.8	+0.2

総資産・純資産・自己資本比率の推移

■ 営業資産の増加により、総資産は年々増加

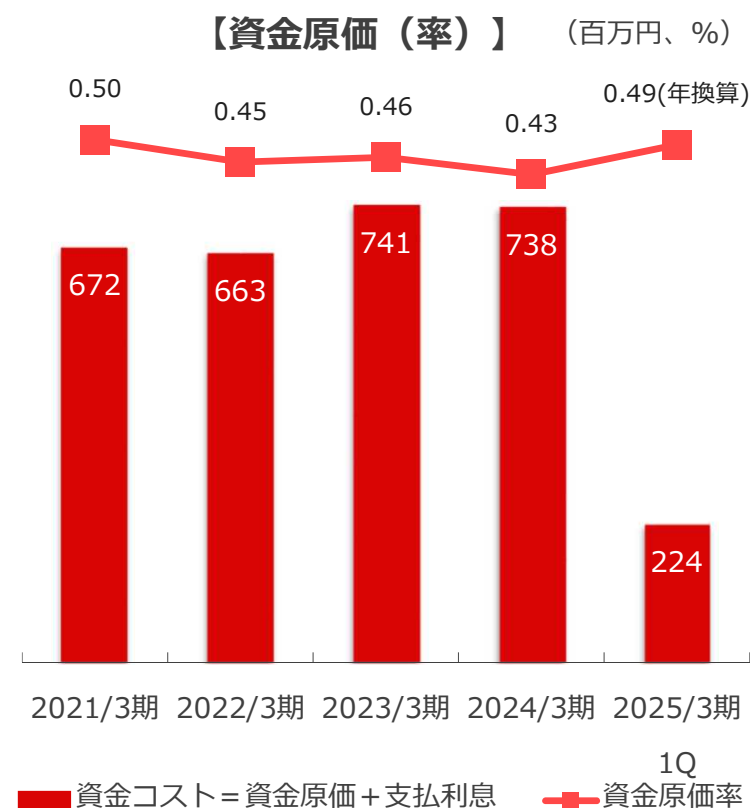
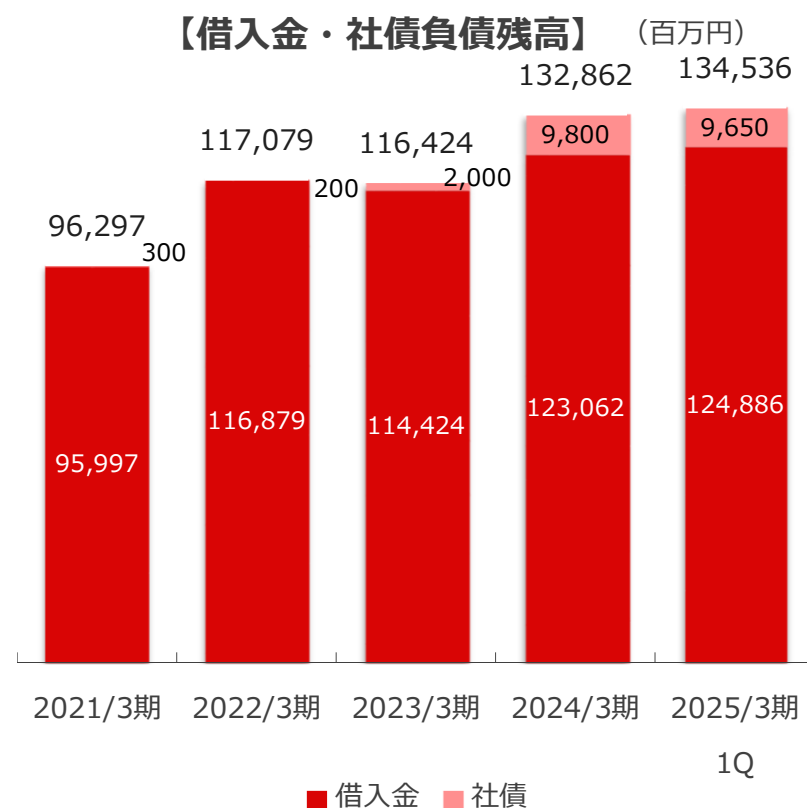
■ 自己資本も一定水準を維持しつつ、資本収益性向上と財務健全性確保の併進を図る



調達状況

有利子負債残高は、営業資産残高の増加に伴い、前期末比で増加

資金原価率は、効率的な資金調達により低水準で推移



(注) 資金原価率 = 資金コスト ÷ 営業資産 (期首期末平均残高)

トピックス……7月24日に第2回無担保社債を発行

第2回無担保社債を発行

第2回無担保社債（以下「本普通社債」）の概要は以下のとおり。
 本普通社債の発行は、2023年7月に続き、2回目の公募による起債。
 今後も資金調達手段の多様化を図り、資金調達の安定性向上に努める方針。

【本普通社債の概要】

名 称	株式会社九州リースサービス第2回無担保社債（社債間限定同順位特約付）
社 債 の 総 額	100億円
各 社 債 の 金 額	1億円
利 率	年1.088%
償 還 期 限 （ 年 限 ）	2029年7月24日（5年債）
払 込 期 日	2024年7月24日
利 払 日	毎年1月24日及び7月24日
取 得 格 付	A（株式会社日本格付研究所） A（株式会社格付投資情報センター）
引 受 会 社	みずほ証券株式会社、SMBC日興証券株式会社、野村証券株式会社
財 務 代 理 人	株式会社西日本シティ銀行
振 替 機 関	株式会社証券保管振替機構

2

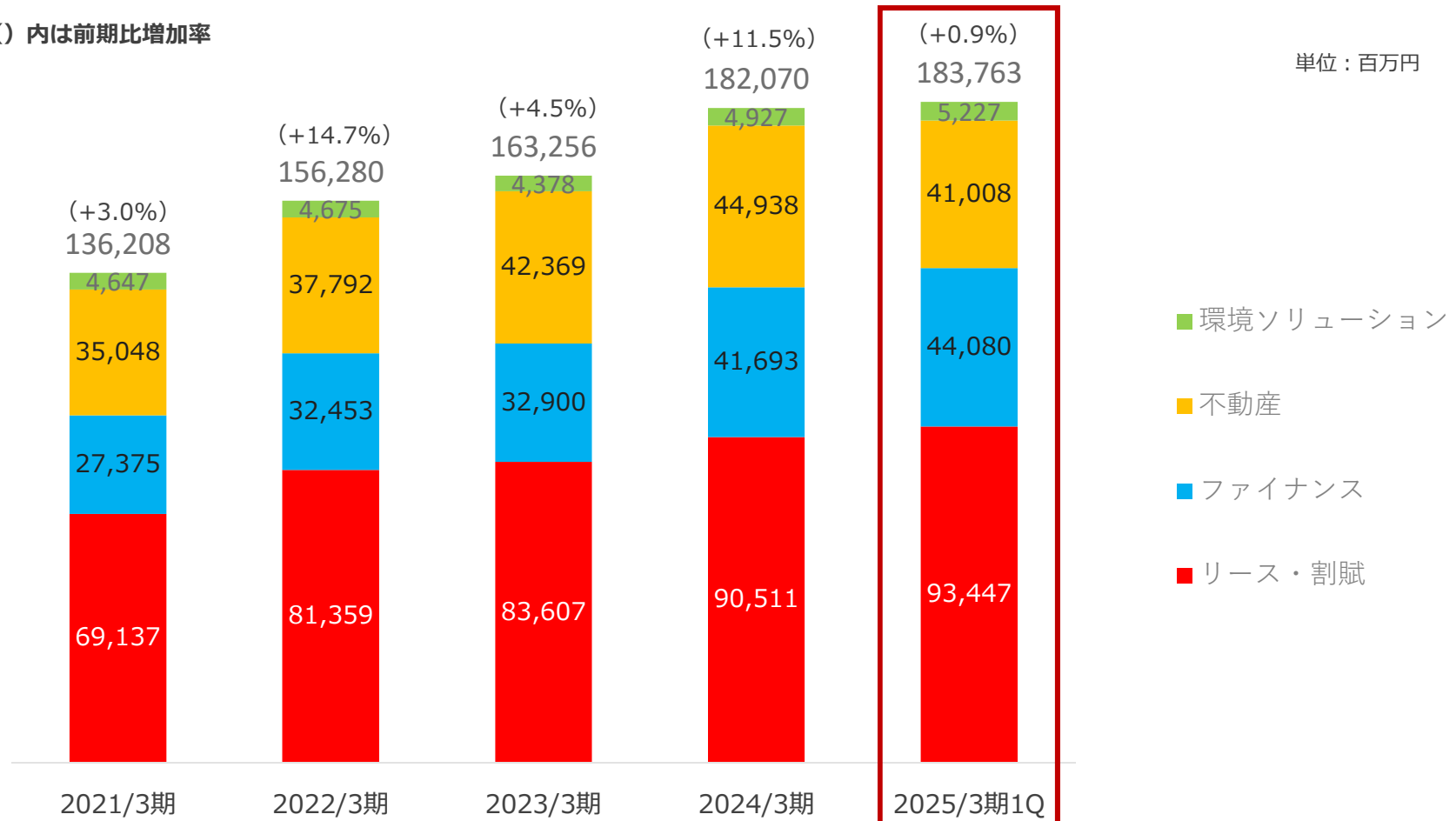
セグメント別の状況

営業資産の推移

営業資産残高は、全セグメントとも年度ベースで増加基調で推移

2025/3期1Qは、販売用不動産の売却を行ったため、不動産セグメントが前期末比減少引き続き、リスクと収益性のバランスを考慮した良質な営業資産の循環を図る

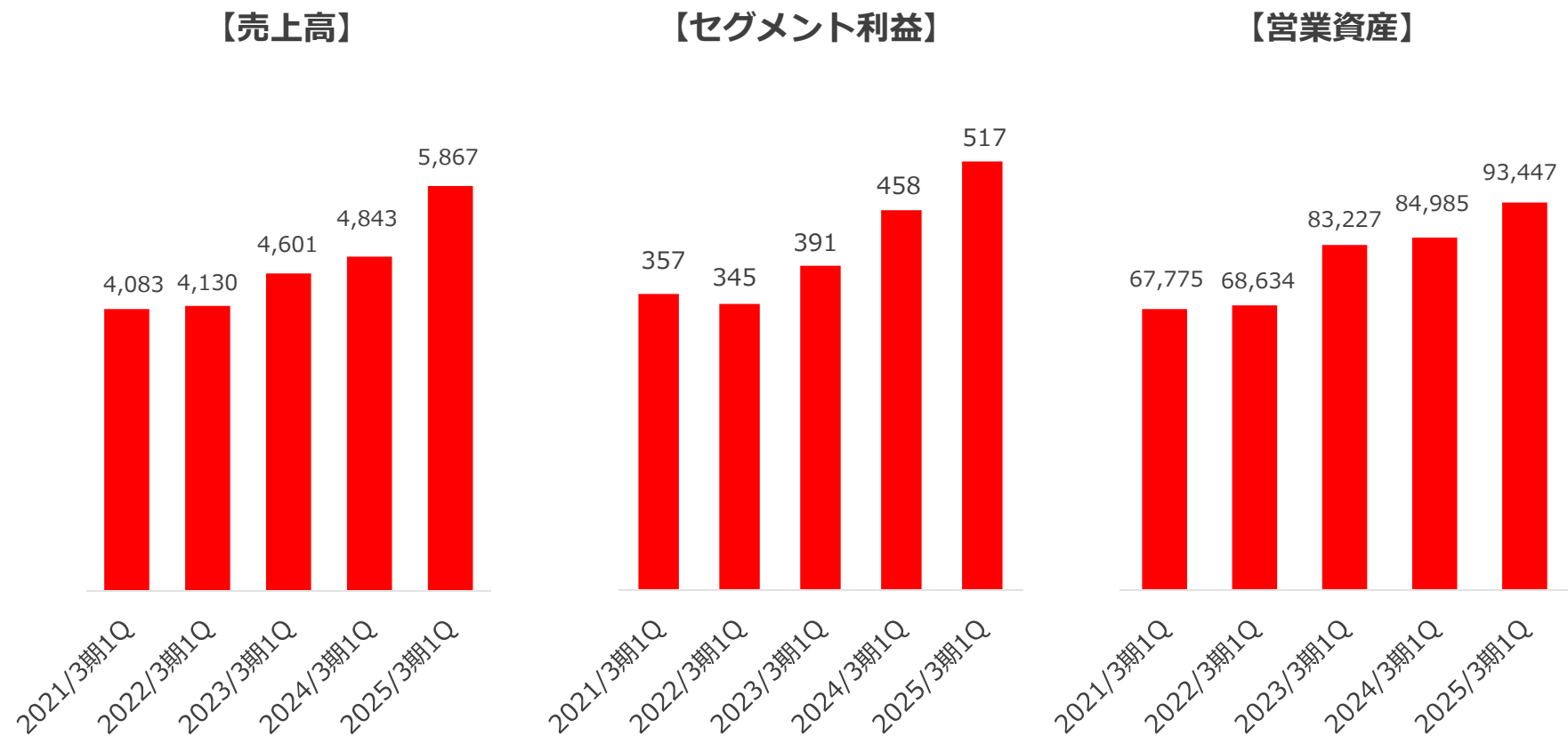
※ () 内は前期比増加率



セグメントの状況（リース・割賦）

- 再生可能エネルギー関連や省エネ機械設備などの環境関連分野向けの取組みが伸びたほか、建物リース形式での開発案件にも取組み、営業資産は順調に拡大
- 2025/3期1Qは、リース物件売却収入もあり増収増益で推移

単位：百万円

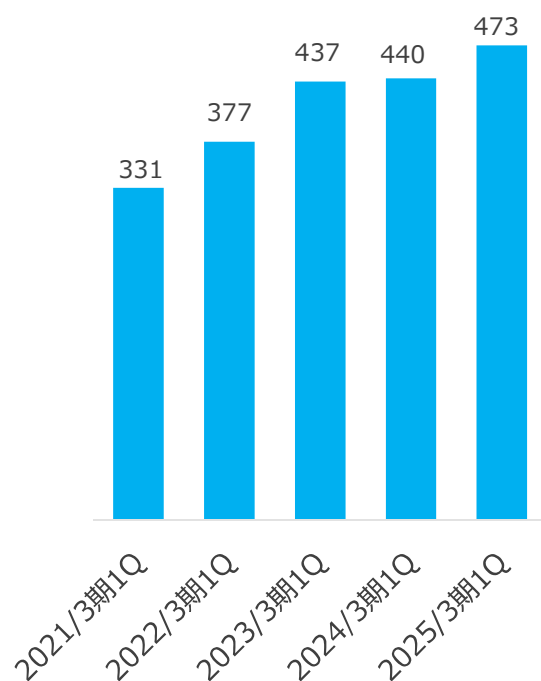


セグメントの状況（ファイナンス）

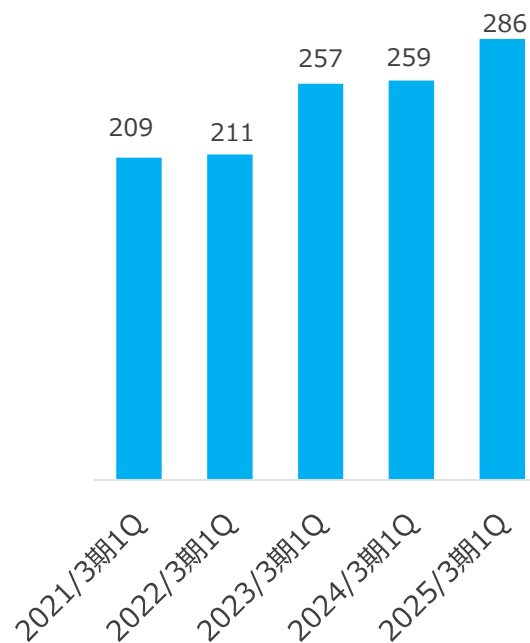
- 不動産開発資金等の融資実行高が伸長。営業資産の積み上げに伴って、利息収入等が増加しており、売上高・利益・営業資産残高ともに、増加トレンドで推移
- 2025/3期1Qは、堅調な新規契約実行高により営業資産残高は伸長

単位：百万円

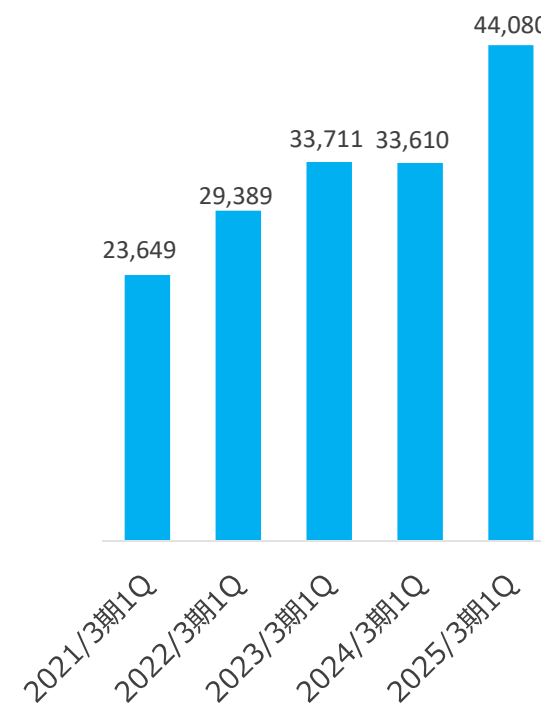
【売上高】



【セグメント利益】



【営業資産】

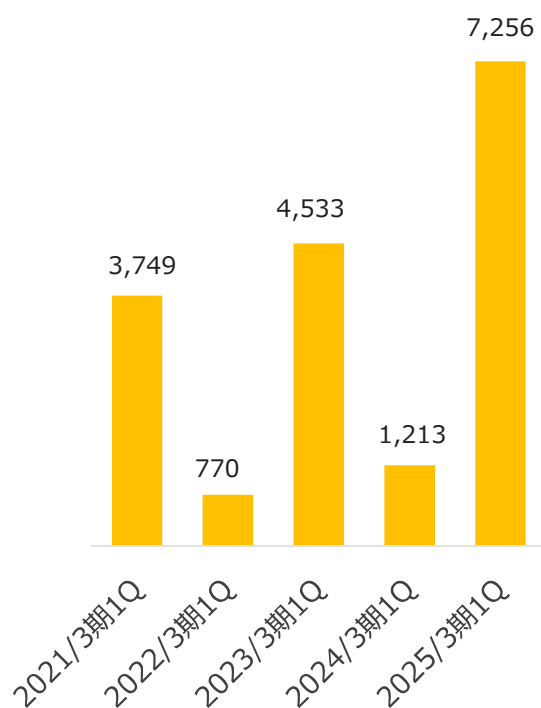


セグメントの状況（不動産）

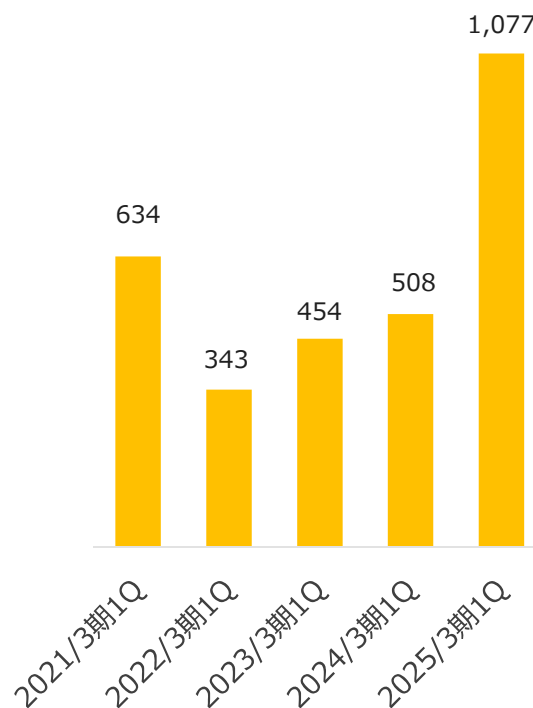
連結子会社における不動産販売収入が好調に推移したほか、九州エリアにおける不動産仲介収入により、1Q対比で大幅増収増益で推移。資産の入替えを適宜実施しており、2025/3期1Q末時点の営業資産は減少

※各期中における大型不動産販売の有無により売上高や利益が変動する傾向あり

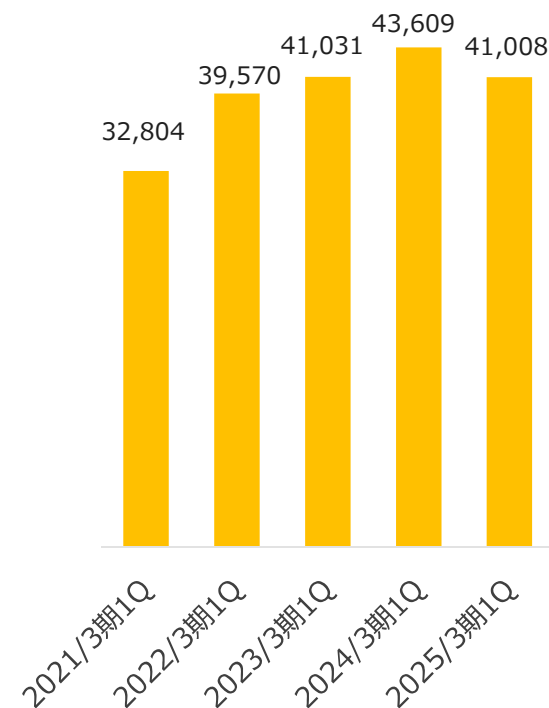
【売上高】



【セグメント利益】



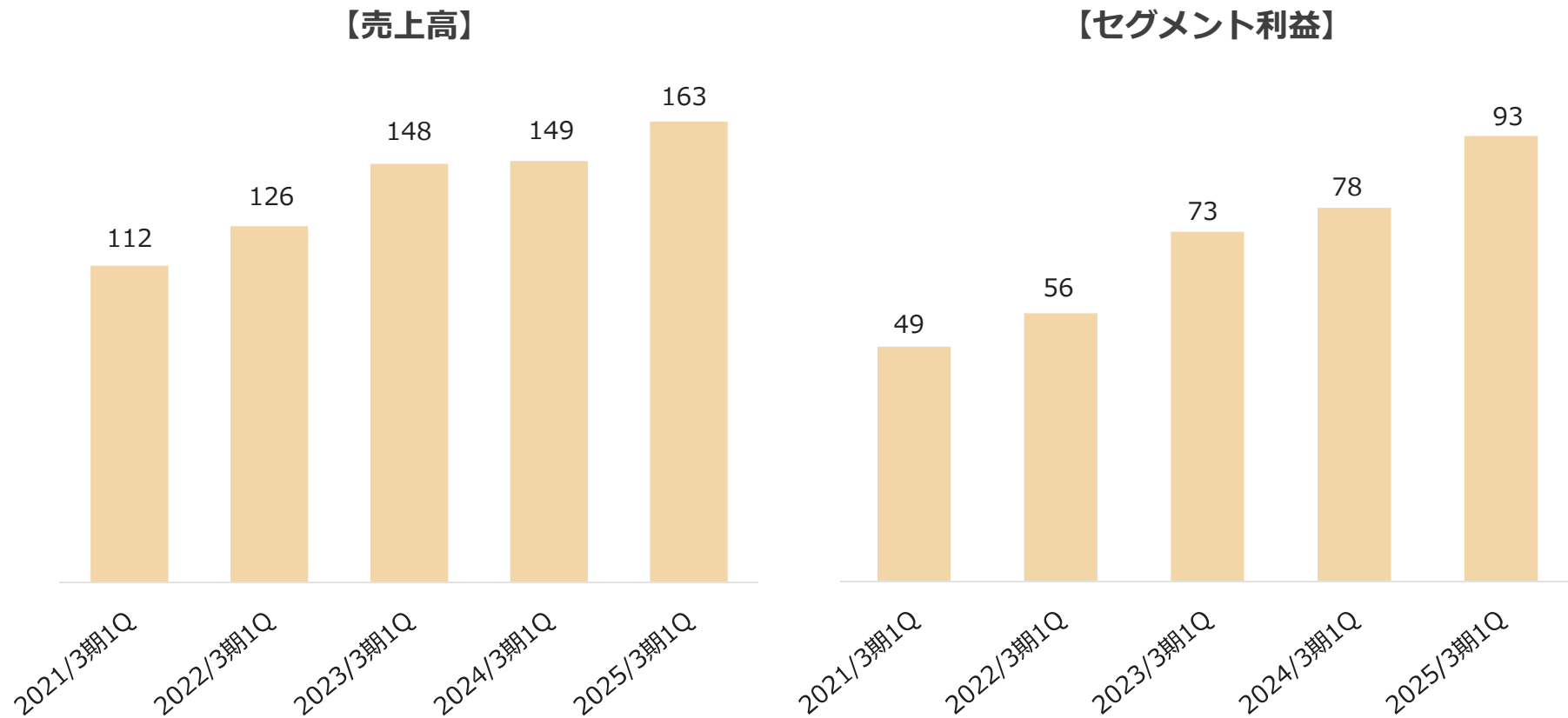
【営業資産】



セグメントの状況（フィービジネス）

フィービジネスセグメントは、主にカーリース、生命保険、損害保険の代理店業務を行っており、売上・利益とも堅調に推移

単位：百万円



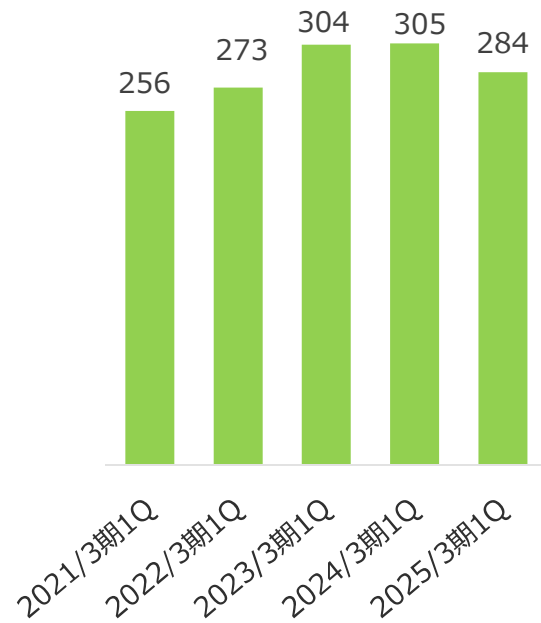
(注) 2019/3期以前は環境ソリューションセグメント調整前

セグメントの状況（環境ソリューション）

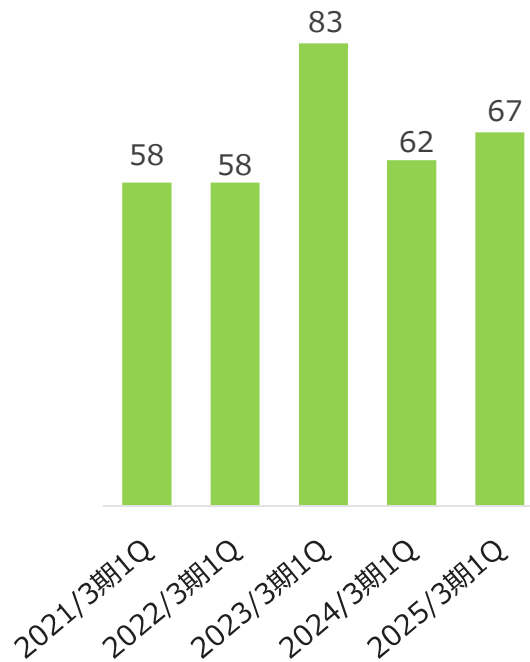
2020年4月より、SDGsに貢献する環境関連ビジネスへの取り組みを踏まえ、従来その他に区分していた「売電事業」、「リース・割賦」に含まれていた「LEDレンタル事業」を「環境ソリューション」に変更

環境関連のエクイティ出資増加により、営業資産は増加基調で推移

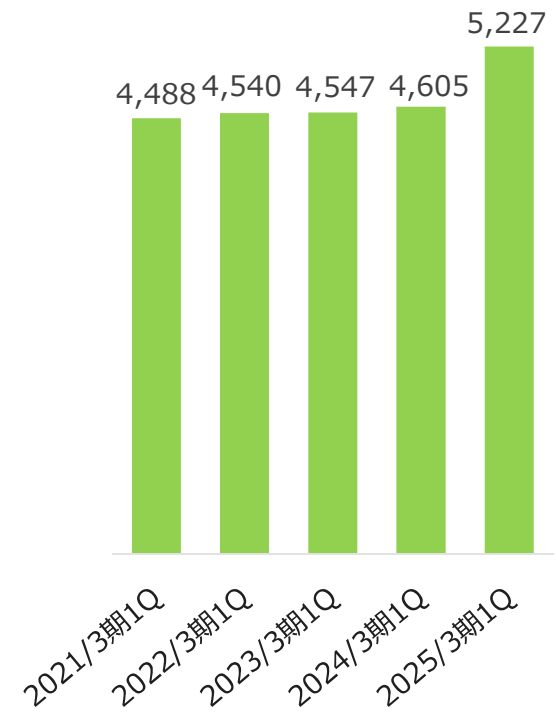
【売上高】



【セグメント利益】



【営業資産】



3

2025年3月期 業績予想

2025/3期 業績予想

- 通期業績予想に対し、売上高、各利益段階ともに順調に推移
- 引き続き市場金利や信用リスクの動向を注視しつつ、営業資産の積み上げ・入替えによるベース収益の拡大により増収増益を確保するとともに、持続的成長に向けた足場固めに取組む

単位：百万円

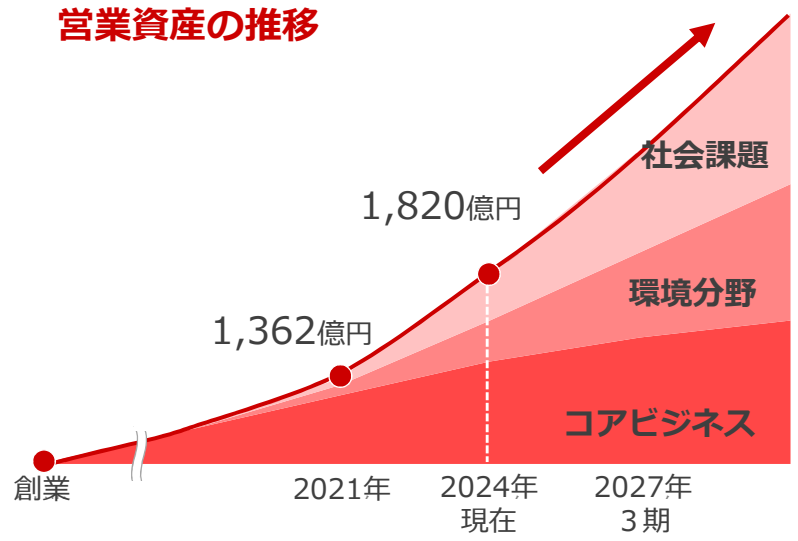
	2024/3期		2025/3期	
	実績	通期予想	1Q実績	進捗率
売上高	33,508	34,500	14,053	40.7%
営業利益	4,635	4,800	1,879	39.2%
経常利益	4,593	4,700	1,902	40.5%
当期純利益	3,048	3,200	1,134	35.5%

中期経営計画の概要 財務目標・非財務目標

■ 毎期増収増益を目指すとともにROA・ROEを維持・向上させていく

■ 収益性を意識した営業資産の循環とあわせて、社会課題解決起点での新規ビジネス拡大により目標達成を目指す

営業資産の推移



	2024/3期 実績	2027年 数値目標
当期純利益	30億円 ➡	40億円
ROA	1.65% ➡	1.75%超
ROE	7.88% ➡	8.00%超

■ 自らが“挑戦”“創造”“成長”できる働きがいのある組織へ

エンゲージメント

エンゲージメントスコア
2024年時点 (Cランク64.7点)
A ランク ⇒2027年度 (70点以上達成)

仕事に対する自発的貢献意欲 (活力、熱意、没頭) を測定し、社員一人ひとりが自律的に挑戦できる環境をつくる

人財育成投資

3カ年人材育成投資
2024年度⇒2027年度
120%
(2024年度対比)

組織戦略におけるリスクリングの促進や個人のキャリア形成に向けた教育・育成支援

ダイバーシティ

女性管理職比率
22%超 2024年度 (11.3%)
⇒2027年度

組織戦略における組織体制の強化や一般職の総合職登用におけるモニタリングとして指標を設定

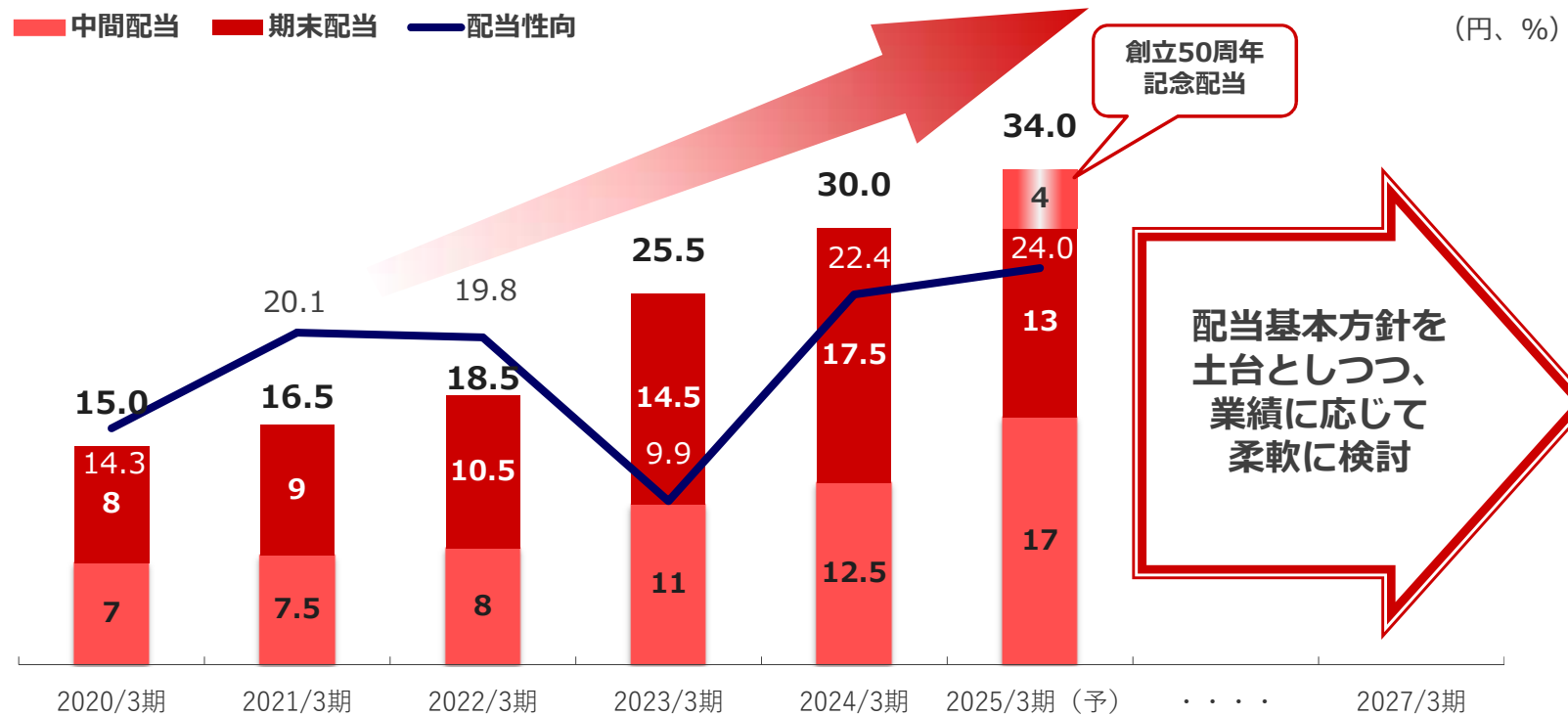
健康経営

男女育休取得率
100% 2024年度 (100%)
⇒2027年度
を維持する

男女の育休取得は100% 従業員の健康増進により、生産性の向上や組織の活性化につなげる

株主還元方針

配当による株主還元を基本とし、利益成長に合わせて還元水準の適切な対応を図る



【お問い合わせ先】

株式会社九州リースサービス 総合企画部

TEL 092-431-2915

ホームページ : <https://www.k-lease.co.jp/>

■本資料の注意点

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が予測したものです。実際の業績は、様々なリスク要因や不確実な要素により、業績見通しと大きく異なる可能性があります。
- 本資料中の情報によって生じた影響や損害については、当社は一切責任を負いません。
- なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複写複製、または転載等を行わないようお願いいたします。